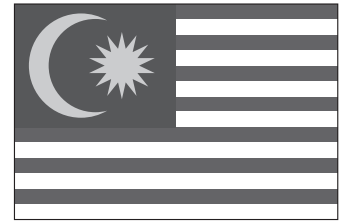


3. 研修国（マレーシア）概要

- ◆正式名：マレーシア
- ◆首都：クアラルンプール
- ◆言語：マレー語（国語）、中国語、タミール語、英語
- ◆宗教：イスラム教（連邦の宗教）、仏教、儒教、ヒンドゥー教、キリスト教、原住民信仰
- ◆民族：マレー系 66%、中国系 25%、インド系 8%
- ◆面積：約33万平方km（日本の約0.9倍）
- ◆人口：約3,120万人（2015年）
- ◆教育：小学校6年間、中学校3年間、高等学校2年間、大学予備教育2年間の6・3・2・2制である。大学は学科により3～5年制の幅がある。小学校から大学予備教育までの授業料は無料であるが、義務教育ではない。
- ◆日本との二国間関係：輸出 1兆8,780億円（鉱物性燃料（LNG等）、電気・電子機器、化学製品等）
輸入 1兆3,182億円（電気・電子機器、機械類、自動車、輸送用機器等）



マレーシアは、2010年3月に新経済モデルを発表し、2020年の先進国入りを目指して取り組みを進めています。先進国入りに向けては、経済の高付加価値化、開発と環境保護の調和、教育・就労機会の均等化、社会的弱者の保護といった課題を抱えています。JICAは、(1) 先進国入りに向けた均衡のとれた発展の支援、(2) 東アジア地域共通課題への対応、(3) 東アジア地域を越えた日・マレーシア開発パートナーシップに重点を置いた協力を実施しています。2011年12月には、マレーシア政府との間で「マレーシア日本国際工科院（MJIT）整備事業」の円借款の貸付契約が調印されました。MJITは、日本型の工学教育を導入するための学術機関であり、JICAは、日本の25大学（2013年10月時点）と連携して、技術協力も合わせた支援を実施しています。

（JICA マレーシア HPより）

